



山梨県立博物館シンボル展

山梨の明治

新しい時代の幕開け

平成30年(明治151年)5月26日(土)〜6月25日(月)

主催
山梨県立博物館

開館時間 午前九時から午後五時(入館は午後四時三〇分まで) 休館日(毎週火曜日)
観覧料 常設展観覧料でご覧になれます。一般五一〇(四二〇)円 大学生二一〇(二七〇)円
※(一)内は二〇名以上の団体料金。小・中・高・特別支援学校の児童・生徒、六十五歳以上の方は無料。

山梨県甲府勧業場之図 当館蔵

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1 電話055-261-2631 FAX 055-261-2632
メール kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp ホームページ <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

長きにわたる徳川の世が終わり、「明治」という新しい時代を迎えてから今年で150年。

明治の人々の努力と挑戦は、様々な成功と失敗を繰り返しながら、現在の私たちの社会や暮らしの基礎を築いていきました。

シンボル展「山梨の明治 -新しい時代の幕開け-」では、甲斐国が山梨県と名を改めて、大きな時代の転換期を迎えていくなかで、当時の人々がどのように対処し、取り組んでいったか、当時を語る多くの資料からご紹介いたします。

山梨の明治はどのような時代だったか、ぜひ感じ取ってください。

展示構成

第一章 山梨の明治維新



新政府軍と甲陽鎮撫隊の柏尾での交戦を描く「甲府大功記」(当館蔵)

第二章 新たな時代への対応



勸業製糸場での工女の働く様子を描いた絵画(当館蔵)

第三章 教育・文化の広がり



明治初期の教科書。扉に赤地に富士山型の切り抜き型の意匠が特徴的(当館蔵)

ココ!
このどんがり屋根の洋風建築は、甲州財閥の若尾家が経営した若尾銀行。

ココ!
明治38年(1905)販売開始の「仁丹」の看板。当時は薬品として販売されていた。

シンボル展 山梨の明治

— 新しい時代の幕開け —

ココ!
甲府から東に向かって走っていた馬車鉄道のレール。



関連イベント

- ◇学芸員によるギャラリートーク
5月26日(土)、6月9日(土)、6月24日(日)午後3時から(40分程度)
展示の見どころを担当学芸員がご案内します。
常設展観覧券をお求めのうえ、シンボル展入口までお越しください。
- ◇かいじあむ講座 A・B
【A】6月3日(日)、【B】6月17日(日)いずれも午後1時30分から3時まで
担当学芸員による講座です。【A】は幕末から明治初期にかけての騒動を中心に、
【B】は同時期の甲州ゆかりの人々の海外体験について講演します。(参加費・申込不要)
- ◇かいじあむ古文書講座「明治の古文書を読む1・2」
【1】5月26日(土)、【2】6月23日(土)いずれも午後1時30分から3時まで
明治時代のくずし字の資料を読む講座です。申込先 ☎055-261-2631 (参加費不要)

お越しになるには

- ◆中央自動車道 一宮御坂ICから車で約8分
笛吹八代スマートICから約12分
- ◆JR石和温泉駅南口からバスで約10分
山梨交通「山梨県立博物館」行き
富士急山梨バス「富士山駅」・「鶯鷹」行き
- ◆JR甲府駅南口からバスで約30分
山梨交通「山梨県立博物館」行き
富士急山梨バス「富士山駅」・「下黒駒」行き
- ◆富士急行河口湖駅からバスで約40分 5番線「甲府駅」行き
- ◆富士急行富士山駅からバスで約50分 4番線「甲府駅」行き

平成30年(明治151年)5月26日(土)～6月25日(月)

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1 電話055-261-2631 FAX 055-261-2632
メール kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp ホームページ <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

写真 明治45年(1912)春ごろの甲府八日町(現在の甲府市中央のNTT甲府支店前付近)